

まちの話題

夕日や多島美を一望

展望台などの施設が沖美町に完成

NPO法人「プリコラージュ江田島」が整備を進めていた展望台やウッドデッキなどの施設「夢来来（沖美町是長）」が完成し、6月12日(土)にプレオープンイベントが行われました。本格的な運営は19日(土)から始め、週末は食事や飲み物などの提供も行います。

同法人の船木 直人理事長は「江田島市への定住希望者や、観光に来られた人が交流する場所になれば、皆さんが気軽に立ち寄れるような場所にしたいですね」と話していました。



田植えをしたよ！



6/3(木) 鹿川小田植え

5年生21人が参加して、池田 朝雄さん（能美町鹿川）の水田で実施。今年で3回目になり、2年目からは苗づくりにも挑戦しています。



6/5(土) 食育チャレンジ隊

毎年恒例の行事。森本 健太郎さん（大柿町大原）の水田で、親子連れなど約50人が参加して行われました。



6/20(日) ちびっこ花田植え

約40人の子どもたちが参加。旧沖小学校付近の水田で、泥の感触を楽しみながら田植えを行いました。

この文章を読んでいる皆さんにお伝えしたい。あの優しい女の子からもらった大切な事を伝えるために。そしてあなたも、歩行者がいる横断歩道では止まっていたら、あの子の笑顔が見られるかもしれないから…。

先日、車を運転していた時の事。私の前を走る2台の車の前方に、横断歩道が見えてきた。よく見ると、その片隅に小さな女の子が片手を一生懸命伸ばして立っている。しかし悲しいかな、前を走行する2台の車は減速すらしないうまま女の子のそばを通り抜けてしまった。

信号機のない横断歩道で横断しようとする歩行者がいる場合は、横断歩道手前でいったん停止しなればならない。これは運転者として当然のルールである。私は自分の車を停止させた。すると、女の子は伸ばした手をそのままに、小走りで道路を横断し、反対側まで渡りきると、くると反対側深くまで頭を下げて。そして「止まってくれてありがとうございます」と大きな声でお礼を言ったのだ。

一瞬の出来事だったが、私の心は感動であふれてしまった。家庭・学校・地域が育んだ温かい環境が、女の子を包んでいるからこそできることだと思ふ。小走りに駆けていく小さな背中を見送りながら、踏み込むアクセルが心なしか優しくなっていた。あのような子どもたちがいるこのまちの未来は、まだまだ明るい。

おたより紹介

秘書広報室に届いた一通のおたよりを、ご紹介します。



カナリヤコーラス（大柿町）「花」ほか2曲

文化団体交流発表大会を開催

6月20日(日)、沖美ふれあいセンターで江田島市文化団体交流発表大会が開催されました。

当日は市文化協会の会員が出演し、合唱やカラオケ、舞踊や民謡などを披露。日々の練習の成果を発揮し、客席からは大きな声援と拍手が送られました。



典静流江田島吟道部（江田島町）
「上杉謙信を偲ぶ」



高田カラオケ自主（能美町）
「人恋酒場」



橘会（沖美町）
「天城越え」



5/16(日)～ 敬老会（江田島町内）

江田島町内13地区のうち、9地区が5月・6月に敬老会を実施。歌や踊り、記念品贈呈などで長寿を祝いました（写真は山田地区）。



6/6(日) 江田島eスポーツクラブ体験教室（市スポーツセンター）

江田島eスポーツクラブの設立記念として実施。当日は、ミニテニスやファミリーバドミントン、体力測定などの体験コーナーを設置。約150人の来場者が汗を流しました。



6/10(木) 海辺の生き物観察（高田小付近の海岸）

高田小3年生11人と4年生8人が参加し、自分たちの身近にある海を観察。ナマコやモクズガニ、マテガイ、ヒトデなどを見つけました。



6/6(日) 宮ノ原区コミュニティまつり（宮ノ原公民館・宮ノ原隣保館）

当日は、作品展示やバザー、カラオケや舞踊のステージ発表があり、大勢の来場者でにぎわっていました。